ambiente christmasworld creativeworld

Press release

2023 年 3 月

初の 3 消費財見本市同時開催　15 万人を超える来場者を記録

メッセフランクフルト ジャパン株式会社
小田島／加来
Tel 03-3262-8453
press@japan.messefrankfurt.com
www.jp.messefrankfurt.com
ambiente.messefrankfurt.com
ambiente2023_1j

2023 年 2 月 3 日（金）－7 日（火）、世界最大級の国際消費財見本市「アンビエンテ」、「クリスマスワールド」、「クリエイティブワールド*」がドイツ・フランクフルト国際見本市会場で同時開催されました。4,561 社の出展者が総展示面積 352,950 ㎡を埋め尽くし、「Home for Consumer Goods」の新たなテーマのもと、170 カ国・地域から訪れた 15 万 4,050 名のバイヤーに最新情報を披露しました。パンデミックによる日本を含むアジアからの出展・来場回復の遅れやウクライナ情勢など、さまざまな影響がある中で初の 3 見本市同時開催となりましたが、パンデミック前と同等以上の全館規模で盛況裡に開催できたことは出展者および来場者から高い評価を得ました。サステナビリティとライフスタイルの融合を反映したユニークかつ包括的な製品ラインナップを提供し、未来のライフスタイルトレンドを発信するグローバルハブとしての存在感を示しました。

*クリエイティブワールドは 1 日遅れの 2 月 4 日（土）－7 日（火）開催

■各見本市の来場者・出展者数

	来場者	出展者
アンビエンテ	109,491 名／168 カ国	3,685 社
クリスマスワールド	35,719 名／142 カ国	627 社
クリエイティブワールド	8,840 名／132 カ国	249 社

「3 年ぶりの開催となりましたが、来場者がとても国際色豊かになり、2020 年をはるかに超える結果となりました」と、メッセフランクフルト取締役のデトレフ・ブラウンは語りました。「メッセフランクフルトは 2 年間、パンデミックによる開催延期を経験したにもかかわらず、驚異的な復活を遂げました。「アンビエンテ」は国際的な消費財市場において世界をリードする見本市としての立場をさらに強固なものにしました。3 つの見本市の同時開催と一部エリアの見直しを経て、新たなライフスタイルのあり方を提案する

messe frankfurt

「ワンストップショップ」がうまく機能したことを証明できたと考えております」。
来場者の 70%はドイツ国外からの参加となり、ドイツに次ぐ来場者数上位 10 カ国はイタリア、フランス、オランダ、アメリカ、イギリス、スペイン、トルコ、スイス、ギリシャ、ポーランドでした。「アンビエンテ」、「クリスマスワールド」、「クリエイティブワールド」の 3 見本市合同開催が新しいプラットフォームとして成功したことは、来場者アンケート結果からも確認することができました。来場者の満足度は 94%と大変高く、高水準を維持しました。次回の開催ではアジアからの出展・来場も回復し、さらに盛況な開催となることが予想されます。

■未来の働き方を提案する新エリア「Future of Work」
今回、特に注目を集めたのは、新エリア「Ambiente Working」の「Future of Work」です。パンデミック以降、新たな働き方として認識された在宅勤務やリモートワークに対応するホームオフィス向け製品が紹介されました。前回に続き、コワーキングスペースを以前よりも多く提供するようになったホテル関係の来場が増えました。

多くの来場者が訪問した「Japan Style」の様子

■日本から海外へ、出展者に手ごたえ
「アンビエンテ」への日本からの出展者は 50 社となりました。その中でも、日本独自の伝統とライフスタイルを背景に生み出された製品が集結した「Japan Style」では、出展者による最新デザインや技術が駆使された製品に注目が集まり、多くの来場者が訪れました。
「Japan Style」スタート時よりコンセプトディレクターを務める TIME & STYLE の代表取締役社長 吉田龍太郎氏は、パンデミックの 3 年間でたまったフラストレーションが解放され、新しいビジネスが生まれるような活気あふれる場所になったと評しました。「パンデミックでオンラインイベントが増えましたが、直接モノに触れて五感で体験することができる見本市の価値が再認識されたと、今回の「アンビエンテ」で感じました」と、今後の見本市への期待を語ります。「これからの「Japan Style」は、日本の伝統工芸品をアピールすることも大切ですが、世界に合わせて日本も新たな分野に挑戦する必要があると思います」と、日本企業への期待も述べています。
初出展した島産業株式会社はごみの再資源化・環境保全に取り組み、生ごみを乾燥させて有機質肥料にする「PARIS PARIS CUBE（パリパリキューブ）」が「German Design Award 2021 特別賞」を受賞しました。「今回の出展に向けて 1 年前から準備した結果、100 社以上と商談を進めることができました。予想以上の反響があって驚いています」と、商品開発グループ 開発研究チームの来見幸太郎氏は出展の手ごたえを語りました。
「HiNGE Dept Accessory」のブランド名でアクセサリーを展開しているデザイナーの

橋本リサ氏は、「アンビエンテ」の姉妹見本市「インテリア ライフスタイル 2022」の「Young Designer Award」を受賞した副賞として初出展しました。「「アンビエンテ」には欧州だけではなく普段商談する機会がない国からも来場されるので、ビジネスチャンスが広がります。バングラデッシュの学校からワークショップやレクチャーの提案をいただいたりと、思いがけない出会いがたくさんありました」とコメントしました。

■持続可能な消費ーサステナブルに向けた新しいアイデア

サステナビリティ、デザイン、ライフスタイル、未来の小売業やトレードにおけるデジタル化の拡大などのメタトピックをテーマにした特別講演やレクチャー、ワークショップ、ガイドツアーなどは、多くの来場者が新たな刺激を受ける場となりました。国際的に著名な講演者やデザイナーを招いた特別プログラムのほか、将来を有望視された若い人材向けのセミナーも開催し、貴重なインスピレーションの場として好評を得ました。

次回の「アンビエンテ」、「クリスマスワールド」は 2024 年 1 月 26 日（金）－1 月 30 日（火）、「クリエイティブワールド」は 1 日遅れの 1 月 27 日（土）－1 月 30 日（火）に開催します。

■2023 年の開催画像

https://ambiente.messefrankfurt.com/frankfurt/en/press/press-material.html

■国内姉妹見本市

インテリア ライフスタイル： 2023 年 6 月 14 日（水）－16 日（金）

http://www.interior-lifestyle.com/

■報道関係者からのお問合せ先

プレス担当：小田島／加来
Tel 03-3262-8453 / Fax 03-3262-8442
press@japan.messefrankfurt.com
www.jp.messefrankfurt.com

世界最大級の消費財見本市「アンビエンテ」

アンビエンテは、世界の消費財市場を牽引する国際見本市です。ダイニング、キッチン、家庭用品、ギフトアイテム、ジュエリー、ファッションアクセサリー、インテリアデコレーション、ホーム・ファーニシングアクセサリーの分野において、出展商材、来場者層の幅広さと質の高さから世界で最も重要な見本市として位置付けられています。

「クリスマスワールド」

クリスマスやバレンタイン等の季節のイベント、結婚式や誕生日を彩るデコレーション、フローリスト用品・園芸用品が集まる国際見本市です。

「クリエイティブワールド」

ホビー、クラフト、DIY 用品、アーティスト用品、多彩なハンドクラフト用品や画材・ホビー資材が一堂に会す世界最大級の国際見本市です。

メッセフランクフルトについて

メッセフランクフルトは、800 年以上にわたり見本市会場として親しまれるドイツ・フランクフルト市に本社を構える世界最大級の国際見本市主催会社です。約 40 万平方メートルの見本市会場を所有し、同社株の 60%をフランクフルト市、40%をヘッセン州が保有しています。グループ全体では世界中に 28 の拠点と約 2,200 人の従業員を有しており、世界各地域の約 180 カ国をカバーするグローバルネットワークは、メッセフランクフルトの強みの 1 つです。2022 年のグループの売上高は 4 億 5,000 万ユーロで、顧客のビジネス拡大に貢献しました。また、「サステナブル経営」を企業戦略の中核に置き、環境保全、経済活動、多様性と社会的責任などの観点において持続可能な状態を実現する経営を実践しています。見本市主催事業以外にも会場の貸出、施工、マーケティング、スタッフサービスやケータリングなど、オフラインとオンラインを合わせた包括的かつ幅広いサービスを提供し、顧客のニーズに合わせてビジネスをサポートしています。詳細は公式ウェブサイトをご覧ください。
www.messefrankfurt.com
*2022 年暫定数値値